

研究課題：High flow nasal canula、一酸化窒素（NO）吸入併用療法に対する後方視的比較研究

1. 研究の目的

小児心臓外科術後、人工呼吸離脱後の呼吸補助に高流量鼻カニューラ（HFNC）の有用性が報告されています。また、術後肺血管抵抗管理のための一酸化窒素（NO）吸入療法は通常気管挿管下で施行され、抜管後の継続が課題でした。近年、HFNC と NO 療法の併用（HFNO）により抜管後も NO 吸入を継続可能とする報告がありますが、小児二心室循環症例に関する報告は国内外で限られています。

そこで、当院の小児心臓外科術後における HFNO を行った症例と必要としなかった症例を振り返り、小児心臓外科術後における HFNO の有用性と安全性を明らかにすることを目的としています。

2. 研究の方法

2023 年 4 月から 2025 年 3 月に当院で心臓外科手術を受けた小児患者で NO 吸入療法を行った患者様が対象となります。

診療録から、患者様の基本的情報、検査結果、治療内容、入院期間やその後の経過等の情報を調べまとめます。

3. 研究期間

倫理委員会で承認された後から 2028 年 3 月まで

4. 研究に用いる資料・情報の種類

心臓外科手術前後の所見とその後の経過を、カルテの記載や手術記録から、検査に関する事柄（画像、検査所見、治療方法）治療内容に関する事柄（手術内容や集中治療室入室期間、など）を調べまとめます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：外傷診療科 医員 藤原 弘之

研究分担者：救急診療科 医長 中野 諭

集中治療科 科長兼副部長 新津 健裕

救急診療科 科長兼部長 植田 育也

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025 年 12 月 31 日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）